



ふるさと美郷への思いをはせる 中部関西地区美郷町ふるさと会

2月25日に名古屋市内の会場で、中部関西地区美郷町ふるさと会（長谷川弘会長）の総会が開催されました。町からは、松田町長、熊谷町議会副議長や佐藤観光協会会長らが来賓として出席し、会員の方々と情報交換を行いながら交流を深めました。

懇親会では和やかな雰囲気の中、思い出話に花を咲かせるなど再会を喜び合う会員の姿が見られました。



郷土の文化を次世代に 「わらの文化」交流の集い

3月3日、美郷町屋内スポーツ館を会場に「わらの文化」交流の集いが開催され、約170名の参加者が町内外から集まりました。

集いでは、千葉大学名誉教授の宮崎清氏と、台湾の雲林科技大学教授の黄世輝氏により講演が行われました。

宮崎氏の講演は【地域資源の再認識に基づく内発的地域づくり「ないない尽くし」からの出発 人心の華としてのふるさとづくり】のテーマで行われ、実際に海外での暮らしを体験して感じた「豊かさ」のことや、「ふるさと」の価値を再発見することについて語られました。

黄氏の講演は【台湾における社区総体営造】のテーマで行われ、台湾での地域づくりについて、時代背景や実例を交えながら語られました。

講演に続きワークショップとして、稲垣「わらの会」（青森県つがる市）の指導のもと「わらぼーづくり」が実施されました。



■黄世輝氏



■宮崎清氏

タイ王国教育関係者が 美郷中学校を視察

3月5日、タイ王国の教育関係者21名が来町し、美郷中学校で授業を視察しました。

町では、2月にタイ王国のノンタブリー県第1地区初等教育局と教育交流協定を締結。平成30年度には5泊6日の日程で中学生訪問団による相互訪問交流を実施する予定です。



たくさんの思い出を胸に 町内小中学校とこども園で卒業・卒園式

3月10日から16日にかけて町内小中学校と各こども園で卒業・卒園式が行われました。子どもたちは、思い出のたくさん詰まった学び舎や恩師、保護者の皆さんに感謝の気持ちを伝え、春からの新生活に向けて第一歩を踏み出しました。

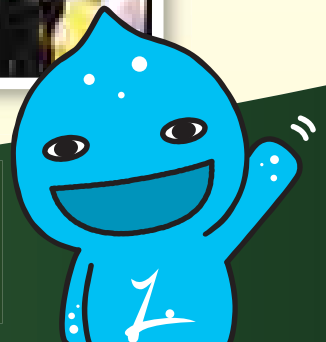
卒業・卒園者数は次の通りです。

千畑なかよし園	37名
六郷わくわく園	33名
仙南すこやか園	39名
千畑小学校	58名
六郷小学校	51名
仙南小学校	53名
美郷中学校	165名



町の話

MISATOPICS



第3回 町議会 臨時 会議 会

平成30年第3回、町議会臨時
会が2月22日に
開かれました。
審議された議案
は次のとおり
です。

可決された案件

■平成29年度美郷町 一般会計補正予算第9号

除排雪に要する経費の増額により、歳入
歳出予算にそれぞれ7140万1千円を追
加し、総額113億5653万7千円とし
ました。



町議会定例会にて招集あいさつをする
松田町長

コラム 風

「新たな活力」

美郷町長 松田知己

大変だった冬がようやく終わり、春を迎えました。今冬の連日の降雪には本当に心も体もへトへトでしたので、余計に春の到来が嬉しく感じられます。きっと、私だけではないものと思います。まだ残雪は多いわけですが、それでも道ばたには雑草が芽吹いていて、生命を感じるとともに改めて「始まり」を実感します。そしてこの4月、就職や入学

などで新たな「始まり」を迎える方々も、沢山いらっしやるものと思います。大きな期待や希望を抱きながら「始まり」を迎えるものと思います。が、是非、今の気持ちを大切に、力強く歩みを進めていただきたいと思います。心から「がんばれ〜！」とエールを送りたいと思います。

さてこうしたエール、この2月から3月にかけては、国内外の各地に溢れていました。平昌オリンピック・パラリンピックです。今回も多くの感動をいただきましたが、改めて「いや〜オリンピック・パラリンピックって本当に良いもんですね」と思います。そして冬期オリンピック・パラリンピックが終わり、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが次の開催となりました。残り2年4カ月で、もう

カウンタダウンの状況に入っております。

美郷町はタイ王国バドミントン選手の事前合宿地です。で、まさに準備を本格化させる時期です。そのため、今年度から新たな取り組みもスタートさせます。まずは、生涯学習の一環としてタイの食文化講座を開催し、タイへの理解を深めてまいります。また、バンコクに隣接するノンタブリー県の中学校と美郷中学校の生徒の相互交流も行い、若い世代の相互理解も深めてまいります。さらに、昨年度に続き、タイのバドミントン選手をお迎えする予定もあり、その際には美郷中のバドミントン部等にクリニックなど行い、東京オリンピックを身近な大会として認識してもらおうよう、取り組んでまいります。

多くの感動があるに違いない身近な東京オリンピック。それに幾らかでも関わることで、必ずや感動は深まるはず。得難いこうした機会を活用し、美郷の新たな活力に繋げてまいります。